学校番号	2002

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書道Ⅱ」（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰで培った技術等を発展させ、作品制作に取り組みます。
・さまざまな書体の変遷を知った上で、現在使っている文字の良さも体感し、生活の中に文字を活かせるようになることをめざします。
・授業では、鑑賞活動を通して制作意図の設定方法や技術を学習し、各単元・毎授業の取り組みの様子、作品や制作カードへの記述内容などにより評価します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】
　書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】
　主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現方法や形式、書表現の多様性などについて理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付け、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	・主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	仮名の書	・変体仮名を学ぶ ・仮名の古筆臨書 「高野切第三種」 「寸松庵色紙」	［共通事項］ a:知識 ・仮名の書を構成する様々な要素について理解している。 ・仮名の書の古筆の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:技能 ・仮名の古筆に基づく効果的な表現の技能、墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身に付けている。 b:仮名の古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し、工夫している。 c:主体的に仮名の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	・ワークシートの記述	・成果物(臨書作品)	・取り組みの様子 ・ふりかえり
		・仮名創作		・制作カードの記述	・成果物(仮名創作)	・取り組みの様子 ・ふりかえり
	漢字の書	〈篆書〉 ・書体の変遷 ・篆書の基本用筆 ・篆書の古典臨書 「泰山刻石」	［共通事項］ a:知識 ・篆書の線質、字形、構成等の要素について理解している。 a:技能 ・篆書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 b: 篆書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c: 篆書のよさや美しさを感受し、作品や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	・鑑賞 ・ワークシートの記述 ・ワークシートの記述	・成果物 ・成果物	・取り組みの様子 ・ふりかえり ・取り組みの様子 ・ふりかえり
		〈篆刻〉 ・名印制作(八分印)	［共通事項］ a:知識 ・印を構成する様々な要素について理解し、印の特徴と運刀との関わりについて理解している。 a:技能 ・意図に応じた効果的な表現の技能、配字等による全体の構成の技能を身に付けている。 b: 篆書の特徴を生かし、自身の意図に基づいた印稿を構想し工夫している。 c: 印や刻字の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	・鑑賞 ・制作カードの記述	・成果物	・取り組みの様子 ・ふりかえり

二学期	漢字の書	〈隷書〉 ・隷書の基本用筆 ・隷書の古典 「曹全碑」 「乙瑛碑」 「居延漢簡」	［共通事項］ a:知識 ・隷書を構成する様々な要素について理解している。 ・隷書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:技能 ・隷書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 b: 隷書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c: 隷書のよさや美しさを感受し、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	・鑑賞 ・ワークシートの記述	・成果物	・取り組みの様子 ・ふりかえり
		・隷書の創作 （二字熟語制作）		・制作カードの記述	・成果物 （隷書創作）	・ふりかえり
三学期	漢字仮名交じりの書	・古典の書風を生かした表現 ・紙面構成の方法	［共通事項］ a:知識 ・漢字仮名交じりの書の線質、字形、等の要素と表現効果との関わりについて理解を深めている。 a:技能 ・目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけている。 b: 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、落款の位置や周囲の余白も想定した全体の構成と表現形式を意図に基づいて構想し工夫している。 c: 自身の表現の意図に基づく学習活動を主体的に取り組もうとしている。	・ワークシートの記述		・取り組みの様子 ・ふりかえり
		・創作 言葉と書の調和を考える ・軸装の技術		・制作カードの記述	・成果物 （漢仮名創作）	・取り組みの様子 ・ふりかえり

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度